

令和2年度 自己評価結果に対する学校関係者評価

学校名	北海道月形高等学校	外部評価委員会 (学校評議員会)
1 学校教育目標(めざす生徒像)	重点目標(めざす学校像)	
月形町から世界を見据え、 自らの意思で行動し、 自他共に思いやりの心をもつ生徒	1 月形町・北海道の担い手となる生徒の育成 2 共生を意識した生徒一人一人の生きる力の育成と 多様な進路実現ができる学校	

2 本年度の経営方針

生徒の個性を尊重し、一人一人が安心して活躍でき、地域から選ばれ、信頼される学校作りの推進

- (1) 月形町を知り、空知を知り、北海道を知ること、地域社会に貢献できる生徒の育成に努める
- (2) 卒業後の個に応じた社会自立力と健康な身体と他者を思いやる心を持つ生徒の育成に努める
- (3) 自らを磨き、学び、挑戦する積極的な姿勢の育成に努める
- (4) 教職員が心豊かに生徒に関わり、協働意識と自らが学校を動かしている意識を持つことに努める

3 自己評価結果に対する外部評価(A:十分 B:おおむね十分 C:やや不十分 D:不十分)

評価平均・・・A:4、B:3、C:2、D:1として平均値を算出

評 価・・・評価平均について、A:3.25以上、B:2.50～3.24、C:1.75～2.49、D:1.74以下(小数第3位四捨五入)

分野・領域	評価項目	評価	改善の方策	自己評価 の適切さ	改善に向け た取組の適 切さ
学習指導	①教育課程は、生徒の実態に対応して編成されているか。	A	・地域連携特例校の導入等により、新3年生の教育課程変更がスムーズに実施できた。令和4年度以降の教育課程についても、引き続き魅力ある教育課程に向けて検討や見直しを行っていく。 ・生徒への学習指導は日々の授業に参加することを基本とし、家庭学習は生徒の実態や進路目標に応じたものとする。ICT環境が次年度、整備されるため、教科の特質に応じてICTを活用した授業展開を実施していくよう努める。 ・個に応じた指導を充実させ、引き続き放課後学習を実施し基礎学力の向上を図る。 ・次年度以降、遠隔授業を受信するにあたって、授業開始時間が繰り上がるため、朝読書の継続は難しくなるが、図書室の利用促進、学級文庫の設置、図書委員の活動をとらして読書活動の啓蒙を図っていく。 ・「総合的な探究の時間」の本格的実施に当たり、月形町・北海道の担い手となる生徒の育成につながる探究的取り組みを推進する。	A	A
	②年間学習指導は計画と実施のズレがチェックされているか。	A			
	③学習指導の改善のためシラバスの見直しが適切におこなわれているか。	A			
	④生徒の実態を考慮し、基礎・基本が確実に身につくよう適切な指導を行っているか。	A			
	⑤わかりやすい授業となるよう、授業内容が工夫されているか。	A			
	⑥授業規律の確立が図られているか。	A			
	⑦個々の生徒の学習状態を把握して、適切に評価しているか。	A			
	⑧総合的な学習の時間は、三年間を見通した内容になっているか。	B			
	⑨朝読書や家庭学習の充実により基礎学力の向上が図られているか。	B			
生徒指導	①生徒指導体制が全教職員の共通理解の下で推進できているか。	A	・生徒理解のための研修や、生徒の状況について情報を共有し指導計画の明確化を図り共通理解の確立に努めるとともに、SCやSSW等の専門家と連携した取り組みを行い、全教職員の共通理解の下で生徒指導が推進できた。 ・一方、基本的な生活習慣や集団生活の決まりを十分に身に付けまいまま進学してきている生徒もいるため、引き続き、生徒が相談しやすいよう、各学年に担当を置き組織的に対応するとともに、新入生については今年度効果的であったスクールカウンセラーによる全員面談を次年度も年度当初に実施し、生徒の実態把握を積極的に行っていく。 コロナ禍で学校行事の実施が制約される面があったが、生徒自ら行事を積極的に推進していく力の育成、生徒自らの自浄作用によりいじめやネットトラブルのない学校づくりに取り組ませていきたい。 地域関係機関との連携については、生徒会執行部のリーダーシップ育成のために、教育局や町教育委員会主催の研修会に積極的に参加してきた。今後も「総合的な探究の時間」や「インターンシップ」をとらして、地元に貢献できる生徒の育成を積極的に推進していく。	A	A
	②地域の関係機関と連携できているか。	B			
	③教育相談や個人面接の機会を積極的に設けているか。	A			
	④基本的な生活習慣や集団生活の決まりが身につくよう、きめ細かな指導ができているか。	B			
	⑤いじめや非行、問題行動の早期発見と、その予防対策が日常生活の中で行われているか。	A			
	⑥学校行事は、生徒が自発的に活動できるよう工夫されているか。	B			
	⑦ホームルーム指導計画は、教科指導や他の特別活動との関連を考慮した指導計画であるか。	B			
	⑧部活動に対し、生徒が主体的に参加できるよう指導されているか。	A			
	⑨生徒会活動が、生徒の自主的活動となるよう、全教職員の協力体制ができているか。	B			

分野・領域	評価項目	評価	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
進路指導	①進路指導計画の内容が、生徒の実態に対応できているか。	A	・本校のキャリア教育の充実に向け進路指導部全体計画にそって生徒の希望に応じた3年間の見通しが持てる具体的な仕組みや方法について充実させていく。 ・進学指導の充実に向け、講習等の一層の効率化や効果的な実施について検討するとともに、地域連携特例校として配信授業のみならず、進学指導においても積極的な連携を推進していく。 ・進路指導部通信の定期発行や就業体験等をととして、進路情報提供を充実させ、個々の進路実現に向けきめ細かな対応を行う。	A	A
	②進路指導計画が、ホームルームの指導の中で具現化されているか。	B			
	③生徒や保護者との話し合いを密にし、進路決定のための相談活動が適切に行われているか。	B			
	④講習や模擬試験の指導など希望実現への援助活動はなされているか。	A			
	⑤望ましい勤労観や職業観を育て、自己理解を促す指導は適切に行われているか。	B			
	⑥外部機関とのネットワークを広げ、相互の情報の共有が適切に行われているか。	B			
健康安全指導	①交通安全をはじめ、安全意識を高める指導は行われているか。	B	・避難訓練は、火災に係る訓練1回、地震に係る訓練1回の計2回実施しているが、実態に即した防火防災計画となるよう防火防災計画の見直しを図り、改善に努めていく。さらに校内研修等の実施を通して周知を図り、危機管理体制を充実させる。 ・地域連携の一環として月形刑務所と連携し、地域理解と共に防犯・安全意識の高揚を図る取り組みを継続的に実施していく。 ・養護教諭が中心となり生徒全員が取り組んだ健康目標の設定は、生徒の健康意識の高揚に大変有効であったので継続を推進する。 ・教員、生徒とも減少する中で清掃区域の効率的な分担を模索していきたい。	A	A
	②安全確保のための環境整備や点検は行われているか。	A			
	③防災関係の規程や非常事態発生時の対処要領が、職員や生徒に周知されているか。	B			
	④危機に対する管理体制が充分なされているか。	B			
	⑤健康安全に対する計画的・継続的な指導はなされているか。	A			
	⑥校舎内外の清掃・美化活動は計画的に行われているか。	A			
	⑦生徒の環境美化に対する意識を高める指導は行われているか。	B			
組織運営	①教育活動全般において、教育目標の具現化が図られているか。	B	・職員室内のコミュニケーションを大切にし、報告・連絡・相談を意識し情報の共有化を図り協働意識の醸成に努める。 ・保護者アンケートと教職員の自己評価の評価結果を検証し、組織運営の充実に努める。 ・遠隔授業、ICT活用など全教職員が新たな校内体制の推進に対し、当事者意識を持ち、協働体制のもと、機動的な学校運営に関わることができるよう意識の醸成を図る。 ・働き方改革実現に向け、業務の効率化・平準化を行い勤務時間縮減に向けた取組を充実させるとともに、業務の見直しや改善についての意見交換を積極的に行える環境整備をより一層推進する。	A	A
	②生徒や保護者に対して、教育目標等の周知を図っているか。	B			
	③組織の協力体制が整い、機動的に学校運営がなされているか。	A			
	④教職員が学校運営に対して、積極的に参画できているか。	A			
	⑤教職員相互理解に努め、望ましい人間関係が醸成されるような職場のムードづくりができているか。	B			
	⑥教職員の健康管理や福利厚生に対して、配慮されているか。	A			
	⑦職員会議や打合せ等が適切に行われ、会議の機能が活かされているか。	A			
	⑧法令遵守と服務規律が守られ、説明責任がなされているか。	A			
研修	①校内研修会の時期、実施内容は適切であるか。	A	・校内研修会を年間計画に位置づけ、効果的に実施した。引き続き、生徒理解や授業改善等に向けた校内研修を充実させる。 ・校外研修に積極的に参加する教員を増やし、研修成果は、研修報告や資料回覧等を通して成果の共有化を図る。	A	A
	②各種研修・研究会へは積極的に参加し、生徒に還元されているか。	B			
	③分掌や教科部会内の研修は工夫されているか。	B			
保護者、地域住民等との連携	①家庭訪問の実施等、家庭・保護者との連携協力はできているか。	A	・町内小中学校の授業参観に積極的に参加するとともに、本校での公開授業も地域に発信し、連携の体制構築に努める。 ・学校規模の縮小により、教職員が減少しているが、地域に根ざした教育活動の推進を図るためにも、より一層地域との連携を深め、ボランティア活動や諸行事への積極的な参加を促す。	A	A
	②PTA行事の充実や研修会等、PTA活動は活発であるか。	B			
	③中学校や地域との関係機関との連絡・連携はなされているか。	A			
	④授業公開日の実施時期や公開内容は工夫されているか。	B			
	⑤地域へのボランティア活動等の参加はなされたか。	B			
施設・設備	①施設・設備の維持管理、教育活動に適した整備及び補充がなされているか。	B	・今後とも適切な教育環境の整備に努める。	A	A